

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RG2	科 名 F 流通科 2 年ファッションメイクアップコース	単 位	1
科目コード	科目名 メイクアップ概論 A	授業期間	前期

担当教員(代表)：齋藤 房枝	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

メイクアップ概論 A では、メイクアップ演習で制作する課題をファッションとヘアメイクをトータルに理解し、第三者に伝えるための表現方法を追求していく。 トータルコーディネートに必要な美意識を高めていく。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 1 スペースbalancing理論 (配置バランスの解説分析と修正テクニックのマップ制作実習) × 1
 - 2 ナチュラルメイクアップ概論基礎 (ナチュラルメイクカルテ解説・制作) × 1
 - 3 ヘアアレンジ概論基礎 (ヘアアレンジカルテ解説・制作) × 1
 - 4 イメージメイクアップ概論基礎 (子供イメージフレッシュメイクカルテ解説・制作) × 1
 - 5 イメージメイクアップ概論基礎 (子供イメージキュートメイクカルテ解説・制作) × 1
 - 6 イメージメイクアップ概論基礎 (大人イメージクールメイクカルテ解説・制作) × 1
 - 7 イメージメイクアップ概論基礎 (大人イメージエレガントメイクカルテ解説・制作) × 1
 - 8 ビューティー業界の基礎知識 (化粧品業界&ヘアメイクアップアーティスト講義・調査、プレゼン) × 3
 - 9 コスメ市場調査 (コスメ市場調査マップ制作) × 1
 - 10 イメージ表現 (アパレル演習制作物(つけ衿)メイクカルテ制作) × 1
 - イメージ表現 (アパレル演習制作物(ヘアアクセサリー)メイクカルテ制作) × 1
 - 11 イメージ表現 (アートまつげメイクカルテ制作) × 1
 - 12 イメージ表現 (SUMMER メイクカルテ制作) × 1
- メイクアップ概論・演習ファイルまとめ・提出

評価方法・対象・比重

授業作品(ノート) 評価+作品評価+出席状況(学業評価70% 授業姿勢30%) [英数字評価]

主要教材図書

参考図書	MAKE-UP BEAUTY SABFA 'S MAKE-UP
その他資料	

記載者書名欄	齋藤 房枝
--------	-------

西暦2024年度

科名 ファッション流通科2年 ファッション流通高度専門士科

科目名 ソーイングa

1単位

教育目標・レベル設定:

各自のコーディネートにプラスすることでより効果的に表現できるアイテム(つけ衿・リメイク)を2点制作する。

各自のデザインに応じた制作方法を指導、理解させる。

担当者: 中野 麗子

回数	日付	テ ー マ	目 的	指 導 内 容・方 法	学 習 内 容・方 法	準 備・備 考
1	4/18	導入、デザイン相談(つけ衿)	導入、各自制作したいものを考える	参考作品の提示、制作方法の簡単な説明	参考作品を提示 縫い方要点	実物参考作品・標本 パソコン プロジェクター
2	4/25	各自の制作物に応じて裁断、本縫い準備	各自の制作物に合わせ実習・点検	デザイン決定、裁断、解体	巻きロックの使用法	裁縫セット・縫い方標本・パターン ミシン・ロックミシン アイロン
3	5/2	各自の制作物に応じて裁断、本縫い準備	各自の制作物に合わせ実習・点検	点検・実習	リボンの応用	裁縫セット・縫い方標本・リボンサンプル ミシン アイロン
4	5/9	本縫い	各自の制作物に合わせ実習・点検	点検・実習	ギャザーの寄せ方、 ドロースtring	裁縫セット・部分標本、縫い方標本 ミシン・ひも各種・ゴム各種 アイロン
5	5/16	本縫い・完成	各自の制作物に合わせ実習・点検・提出	点検・実習・提出	素材別仕上げアイロン	裁縫セット 様々な布地サンプル ミシン アイロン
6	5/23	導入、デザイン相談(リメイク)	導入、各自制作したいものを考える	導入、デザイン相談(リメイク)	参考作品を提示 縫い方要点	裁縫セット・実物参考作品・標本 ミシン・リメイク段階標本 アイロン
7	5/30	各自の制作物に応じて裁断、本縫い準備	各自の制作物に合わせ実習・点検	デザイン決定、裁断、解体	既製品の解体について	裁縫セット・縫い方標本・解体標本 ミシン アイロン
8	6/6	各自の制作物に応じて裁断、本縫い準備	各自の制作物に合わせ実習・点検	裁断、解体	解体したパーツの校正	裁縫セット・縫い方標本・パターン ミシン・解体標本 アイロン
9	6/13	各自の制作物に応じて裁断、本縫い準備	各自の制作物に合わせ実習・点検	点検・実習	解体したパーツの校正	裁縫セット・縫い方標本・パターン ミシン アイロン
10	6/20	本縫い	各自の制作物に合わせ実習・点検	点検・実習	リメイクの本縫い方法	裁縫セット・縫い方標本・リメイク材料 ミシン アイロン
11	7/4	本縫い	各自の制作物に合わせ実習・点検	点検・実習	リメイクの本縫い方法	裁縫セット・縫い方標本・リメイク材料 ミシン アイロン
12	7/11	本縫い・完成	各自の制作物に合わせ実習・点検・提出	点検・実習・提出	仕上げアイロンのかけ方	裁縫セット・様々な布地サンプル ミシン アイロン
13	7/18	発表会	各自の制作物に合わせスタイリングを考える	制作物を用いたスタイリング撮影実習(発表会)	各自の作品をスタイリングして発表する	裁縫セット・学生制作作品 スタイリングに必要な用具・材料

2024年度カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RG2	科 名 ファッション流通科2年ファッションメイクアップコース	単 位	1単位
科目コード 101091	科目名 ニット A (自由選択)	授業期間	前期

担当教員(代表)：前田 亜希子	共同担当者：
-----------------	--------

概要 ハンドニットの一般知識（素材・道具・編み地）と棒針、鉤針の編み方の理解と作品作りの知識を習得し、ニットの可能性を広げる。
--

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

回数	内 容	方法	コマ
1	ニットの一般常識、指編み実習	講義・演習	1
2	棒針編み基礎、作り目、表編み（パール編み） JIS記号	講義・演習	1
3	棒針編み基礎、裏目（メリヤス編み・ゴム編み）	講義・演習	1
4	棒針編み基礎、三原組織、伏せ止め	講義・演習	1
5	鉤針基礎（鎖編み、細編み） JIS記号について	講義・演習	1
6	鉤針基礎（細編み・中長編み・長編み）・長編みの円	講義・演習	1
7	ニットの素材・ファンシーヤーン	講義	1
8	各自制作する作品についての指導、ゲージの取り方、作図・計算	講義・演習	1
9	各自作品制作・指導	演習	1
10	各自作品制作・指導	演習	1
11	各自作品制作・指導	演習	1
12	各自作品制作・指導	演習	1
13	ニット総括、作品発表会	講義・発表	1

評価方法・対象・比重 提出物…80% 授業姿勢・出欠席…20%

主要教材図書 講座 ニットの基礎技術 抜粋プリント
授業の特徴と担当教員紹介 ハンドニットを中心にニットの基礎を理解し、演習を通じてニットの楽しさや多様性を知り、ニットの可能性を広げる授業。ハンドニットから工業ニットまで幅広いニットの知識と技術を専門とする教員が授業を展開する。

記載者氏名 前田 亜希子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RG2	科 名 F 流通科 2 年ファッションメイクアップコース	単 位	1
科目コード	科目名 メイクアップ概論 B	授業期間	後期

担当教員(代表)：齋藤 房枝	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

メイクアップ概論Bを踏まえ、メイクアップ演習で制作する課題をファッションとヘアメイクをトータルに理解し、第三者に伝えるための表現方法を追求していく。 トータルコーディネートに必要な美意識を高めていく。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- ヘアメイクアップの歴史 (歴史1950年代～現代 解説・カルテ制作) × 4
- ヘアメイクアップ概論応用 キャラクターメイク (ガーリー&ドリーメイク解説・カルテ制作) × 1
- ヘアメイクアップ概論応用 キャラクターメイク (イベントメイク：ハロウィンメイク解説・カルテ制作) × 1
- ヘアメイクアップ概論応用 キャラクターメイク (ロック&パンクメイク解説・カルテ制作) × 1
- ヘアメイクアップ概論応用 (ウエディングメイク解説・カルテ制作) × 1
- 化粧品検定対策講座 × 2
- ヘアメイクアップ概論応用 (WINTERメイクカルテ解説・制作) × 1
- ヘアメイクアップ概論応用 (卒業制作 自由作品メイク解説・カルテ制作) × 2
- まとめ (メイクアップ概論・演習ファイルまとめ・提出) × 1

評価方法・対象・比重

授業作品(ノート)評価+作品評価+出席状況(学業評価70% 授業姿勢30%) [英数字評価]

主要教材図書

参考図書	MAKE-UP BEAUTY SABFA 'S MAKE-UP
その他資料	

記載者書名欄	齋藤 房枝
--------	-------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RG2	科 名 F 流通科 2 年ファッションメイクアップコース	単 位	3
科目コード	科目名 メイクアップ演習 A	授業期間	前期

担当教員(代表)：齋藤 房枝	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

ファッションの専門知識とメイクアップの専門的な知識・技術を身につけ、トータルコーディネート力に必要な美意識を高めていくことを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1	メイクアップの基礎技術	(用具の確認、説明とステージワークスの手順) × 2
2	メイクアップの基礎技術	(骨格、表情筋の理解とマッサージの展示・実習) × 2
3	メイクアップの基礎技術	(ナチュラルメイクの解説、展示・実習) × 2
4	ヘアスタイルの基礎技術	(ヘアアレンジテクニック解説、展示・実習) × 2
5	メイクアップの基礎技術	(直線、曲線の解説、展示・実習) × 2
6	ヘアアレンジ	(フレッシュ・キュートの展示・実習) × 2
7	メイクアップの基礎技術	(フレッシュの解説、展示・実習) × 2
8	メイクアップの基礎技術	(キュートの解説、展示・実習) × 2
9	ヘアアレンジ	(クールの展示・実習) × 2
10	メイクアップの基礎技術	(クールの解説、展示・実習) × 2
11	ヘアアレンジ	(エレガントの展示・実習) × 2
12	メイクアップの基礎技術	(エレガントの解説、展示・実習) × 2
13	季節に合わせた表現技術 I	(SPRING メイクの展示・実習) × 2
14	ヘアメイクアップの技術 I	(イメージ表現—アパレル演習制作物(つけ衿)を用いての展示・実習) × 2
15	季節に合わせた表現技術	(SPRING メイクの実習) × 2
16	ヘアメイクアップの技術	(イメージ表現—アパレル演習制作物(つけ衿)を用いての実習) × 2
17	メイクアップの表現技術 II	(アートまつげ制作の展示・実習) × 2
18	メイクアップの基礎技術	(アートまつげの展示・実習) × 2
19	ヘアメイクアップの技術 III	(イメージ表現—アパレル演習制作作品—ヘアアクセサリを用いた実習) × 2
20	前期実技試験準備	
	季節に合わせた表現技術 II	(SUMMER メイクの展示・実習) × 2
㊴	前期実技試験	(SUMMER メイクの実習) × 2

評価方法・対象・比重

授業作品(ノート)評価+試験評価+出席状況(学業評価70% 授業姿勢30%) [英数字評価]

主要教材図書

参考図書	MAKE-UP BEAUTY	SABFA 'S MAKE-UP
------	----------------	------------------

その他資料

記載者書名欄	齋藤 房枝
--------	-------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RG2	科 名 F 流通科 2 年ファッションメイクアップコース	単 位	3
科目コード	科目名 メイクアップ演習 B	授業期間	後期

担当教員(代表)：伊藤 宏奏	共同担当者：齋藤 房枝
----------------	-------------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>メイクアップ演習 A を踏まえ、メイクアップの専門的な知識・技術を身につけ、トータルコーディネート力に必要な美意識を高めていくことを目標とする。</p>

【授業計画】		
テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先		
1	ヘアメイクアップ応用技術	(歴史 1950 年代～1980 年代メイク解説、展示・実習) × 10
2	季節に合わせた表現技術Ⅲ	(AUTUMN メイクの展示・実習) × 4
アパレルデザイン科 2 年・ファッションモデルコース合同 コラボレーション		
3	ヘアメイクアップ応用技術Ⅰ	(イベントメイク：ハロウィンメイク解説、実習) × 4
4	ヘアメイクアップ応用技術Ⅰ	(キャリアメイク：ガーリー、ドリーメイク解説、展示・実習) × 2
5	ヘアメイクアップ応用技術Ⅰ	(キャラクターメイク：ロック、パンクメイク解説、展示・実習) × 4
6	ヘアメイクアップ応用技術Ⅰ	(キャラクターメイク：ウエディングメイク解説、展示・実習) × 2
7	季節に合わせた表現技術Ⅳ	(WINTER メイク解説、展示・実習) × 4
8	イベントメイク演習	(ソアロンデザインコンテスト) × 2
9	ヘアメイクアップ応用技術Ⅱ	(自由作品メイク解説、展示・実習) × 6
10	後期実技試験	(実技試験) × 2

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>授業作品(ノート) 評価+試験評価+出席状況(学業評価 70% 授業姿勢 30%) [英数字評価]</p>
--

主要教材図書

参考図書	MAKE-UP BEAUTY SABFA 'S MAKE-UP
その他資料	

記載者書名欄	齋藤 房枝
--------	-------

2024年度 カリキュラム科目概要

科コード	RG2	科 名	化粧品科学	単 位	1単位	
科目コード	FAM	科目名	化粧品科学AB	授業時間		
【授業概要、到達目標・レベル設定】						
プロとして正しい化粧品の考えを学ぶ。化粧品アドバイザーになれる知識を身につける						
【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、 他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先						
テーマ		方法				コマ数
肌診断化粧品の目的		化粧品検定3級を受ける				2
肌診断		測定器を使って顔の現状理解する				2
間違いがちな美容知識をチェック		2測定器を使って顔の現状理解する				2
綺麗な肌を手に入れよう1		肌の仕組みを知る 基底層に染み込むパックを作る				2
綺麗な髪を手に入れよう2		正しいヘアケアを知る ダメージ理論と対応するためには・・				2
皮膚・肌について知ろう1		正しいブロー法を知る ヘアケアを理解 テスト				2
肌タイプを知る		皮膚の仕組みを知る/化粧品検定3級を取る				1
肌のトラブル毛穴		なぜ毛穴ができるかを理解と対策 小テスト				2
肌のトラブルニキビ・シミ		肌トラブルの原因と対策 小テスト				1
肌のトラブルくすみ1		なぜ毛穴ができるかを理解と対策 小テスト				2
肌のトラブルくすみ2		肌トラブルの原因と対策 小テスト				2
紫外線が肌に与える影響と対策1		紫外線と老化の関係性を理解 小テスト				2
紫外線が肌に与える影響と対策2		紫外線と老化の関係性を理解 小テスト				2
化粧品検定 評価(総まとめ)		1化粧品検定の確認				1

【評価方法】 テスト S～F評価
 学業評価 80% 授業態度20%

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

化粧品研究と有機化学を専攻し、生徒さんたちに正しい化粧品のあり方を教えます

記載者氏名

立花正雄

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RG2	科 名 ファッションメイクアップコース 2 年	単 位	1 単位
科目コード 902900	科目名 色彩美学	授業期間	前期

担当教員(代表)：澤田石澄子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

顔のプロポーションを主軸として頭部から肩周辺を描く技術を習得する。
シーンに合わせたメイクカルテを明確に表現できるようになる事を目標とする。

【授業計画】

- 1. 頭部のプロポーション【1コマ】** ガイドラインを使用した基本の頭部のプロポーション正面・斜めを説明・実習。プリント演習、アウトライン仕上げ。
- 2. パーツの形 陰影のつけ方【1コマ】** パーツの形による顔の造形の変化と頭部の陰影のつけ方を説明・実習。プリント演習、マーカー仕上げ。
- 3. ヘアスタイル【1コマ】** ヘアスタイルの描き方を説明・実習・点検。プリント演習、アウトライン仕上げ。
- 4. 衿・帽子的の描き方【1コマ】** 衿の描き方と帽子的の構造と被り位置の説明・実習・点検。プリント演習、アウトライン仕上げ。
- 5. リップパレットの混色【1コマ】** 画材を使った混色の説明・実習・点検。プリント演習、着色仕上げ。
- 6. メイク道具を使用したメイクカルテ作成【2コマ】** メイク道具を使った着色のポイントを説明。プリント演習、写真台紙着色仕上げ。
- 7. アクセサリー・光沢素材・特殊素材の描き方【1コマ】** アクセサリー、レース、羽根、ファー、シースルーなど頭部周辺の装飾を描く際のポイントを説明・実習・点検。プリント演習、着色仕上げ。
- 8. 素材表現【2コマ】** 特殊素材をテーマに学生の個々の表現に応じたメイクカルテ作成実習・点検。写真台紙着色仕上げ。
- 9. まとめ【3コマ】** 資料や文字のレイアウトを含めたメイクのシーン別の表現と個々のデザインに合わせた描画表現の研究。実習・点検。プリント演習、写真台紙着色仕上げ。

【評価方法】 S～C・F評価 学業評価80% 出欠状況20%

主要教材図書 文化ファッション大系服飾関連専門講座④ファッションデザイン画

参考図書

その他資料 教員作成プリント

授業の特徴と担当教員紹介 頭部から肩周辺のメイクアップとヘアスタイル、装飾の基礎的な描き方習得できる授業構成。
文化服装学院専任教員が担当。

記載者氏名 澤田石 澄子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RG2	科 名 ファッション流通科2年ファッションメイクアップコース	単 位	1
科目コード 704100	科目名 エステティック	授業期間	通年（月1回×2コマ）

担当教員(代表)：宮本 洋子	共同担当者：赤井 美香
----------------	-------------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>人間の表面の美しさだけでなく、内面の美しさをも引き出すことができる美容法として、エステティックを学んでいく。技術だけでなく、顧客に対して癒しと効果を提供することを学び。自らの心も成長させる。</p>
--

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p>
<p>I. エステティック概論・実習 (体や肌の構造) (スポンジ・タオルの施術)</p>
<p>II. エステティック概論・実習 (栄養とダイエット) (クレンジング・マッサージの施術)</p>
<p>III. 化粧品の知識・実習 (化粧品の仕組み、利点) (コース行程・手順の把握)</p>
<p>IV. 美しさ 100 年の秘訣 (今しておくべきこと) (コース行程・手順の把握)</p>
<p>V. 実習 (相モデルにて技術と心配りの習得)</p>
<p>VI. 総まとめテスト (ご案内～施術)</p>
<p>VII. 実技テスト (ご案内～施術)</p>

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>出席50% 授業態度20% テスト30%</p>

主要教材図書
参考図書
その他資料

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>エステシャンとして活躍する実績をもとに、エステティックを指導し、技術だけでなく、顧客に対して癒しと効果を提供することを学習させる。</p>
--

<p>記載者書名欄 宮本 洋子</p>

授業の特徴と担当教員紹介

LIM ならではのカジュアルでショートネイルにあうデザインやネイルの基礎を学んでもらいます。

講師 櫻木櫻霞 virth+LIM ネイリスト

記載者氏名 櫻木櫻霞

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RG2	科 名 F 流通科 2 年ファッションメイクアップコース	単 位	2
科目コード	科目名 アパレル演習	授業期間	前期

担当教員(代表)：齋藤 房枝	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

幅広い商品知識の中からアパレル商品について、商品の分類、種類の名称、色の効果と素材の知識を理解する。
 コースに特化した小物製作（衿のバリエーション・ヘアアクセサリ）。
 一般的な商品知識を理解する商品マップ制作、カルテ作成後、ヘアメイク撮影（バストアップ）。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

<つけ衿 製作>

- I. 製作条件・導入・市場調査 講義・実習 90分×12コマ
- II. つけ衿製作
- 1、 製作条件（デザイン・素材）
 - 2、 商品知識
 - 3、 作図及び作図実習（個人のアイテム別制作実習）
 - 4、 裁断、印つけ
 - 5、 本縫い準備
 - 6、 バランス点検（試着補正）
 - 7、 本縫い（リメイクの仕方、要点含む）
- III. 進捗表・ヘアメイク案（カルテ作成） 90分×1コマ
- ・コーディネーション絵型、考察・感想
 - ・トータルコーディネート撮影（メイク演習Aにて撮影）

<ヘアアクセサリ製作>

- I. 製作条件導入・市場調査 講義・実習 90分×13コマ
- II. ヘアアクセサリの製作
- 1、各デザインに合わせて本縫い要点・説明
 - 2、デザインと素材のバランス要点（適した副資材）
 - 3、デザイン別縫い方の順序・デザイン別縫い方の要点
 - 4、デザインにあった金具（髪留め要点）
- III. 進捗表・ヘアメイク案（カルテ作成） 90分×1コマ
- ・コーディネーション絵型、考察・感想
 - ・トータルコーディネート撮影（メイク演習Aにて撮影）

評価方法・対象・比重

2 作品 + 進捗表・カルテ評価 + 出席率（学業評価70% 授業姿勢30%）[英数字評価]

主要教材図書

文化ファッション大系、ファッション流通講座
 コーディネートテクニク・商品構成／商品知識編

参考図書	
その他資料	実物参考標本

記載者書名欄	齋藤 房枝
--------	-------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通科2年 ファッションメイクアップコース	単 位	2単位
科目コード	科目名 メイクアップコーディネート	授業期間	(通年)

担当教員(代表)： 夏目 幸恵	共同担当者：野口 恭子
-----------------	-------------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 メイクアップコースに必要なヘアやメイクを引き立てるコーディネートテクニックを学ぶ。
 さらに客観的な視点でヘア、メイクを捉える提案力、表現力を身につけることを目標とする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
 他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- 1、オリエンテーション・カルチャーコーディネート 3コマ
 (講義1コマ、実習1コマ、プレゼン1コマ)
 - 2、素材に視点を置いたコーディネート 7コマ
 素材・柄に視点を置いたコーディネートを学ぶ
 同素材・異素材のコーディネートテクニックと柄のコーディネートテクニック
 (講義2コマ、点検実習4コマ、プレゼン1コマ)
 - 3、アクセサリに視点を置いたコーディネート 7コマ
 ネックレス、アイウエアの種類と名称 体型とデザイン
 帽子・ヘッドアクセサリのかぶり方と見え方(講義3コマ、実習3コマ、プレゼン1コマ)
 - 3、体系カバーに視点を置いたコーディネート 10コマ
 体型観察、総合的に見る①、総合的に見る②、部分的に見る
 (講義3コマ、実習5コマ、プレゼン1コマ)
- 計 27コマ

S～C・F評価
 評価基準：学業評価 90% 授業態度10%

主要教材図書 文化ファッション大系 ファッション流通講座 コーディネートテクニック 演出編
参考図書 なし
その他資料 なし

記載者氏名 夏目 幸恵

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RG2	科名	ファッション流通科ファッションメイクアップコース	単 位	2単位
科目コード		科目名	ファッション情報	授業期間	通年 (B 週)

担当教員(代表)： 澤住 倫子	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ファッション入手方法について学び、ファッション情報を活用する事の重要性を理解する。
また、分析した情報をプレゼンテーションや様々な表現を通し、「人に伝える」力を身につける。
- ・場牽引ブランド・注目ショップの最新プロモーションや、インフルエンサー・人気モデルの動向に注目し、今後の市場への影響や予測分析をできる力を身につける

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- I. 情報活動について (1コマ) … 講義
- ① オリエンテーション・情報活動の位置づけと重要性について
 - ② ファッション情報の流れについて
- II. 消費者分類 (1コマ) … 講義と演習
- ① 消費者のイノベーター分類とプロモーション活動について
- III. ファッション情報分析 i (4コマ) … 講義・演習
- ① 秋冬コレクション情報の収集と分析と傾向の把握
 - ② 分析結果をビジュアルマップとして制作・市場への影響について考察
 - ③ プレゼンテーション
- III. コレクション解説 (1コマ) … 講義
- ① コレクション解説及びファッション予測情報解説
- V. 市場調査の意味とその手法 (3コマ) … 講義・演習
- ① 店舗調査と視察調査の実施
 - ② 商品情報(2024-25AW)の収集と分析
 - ③ コレクション情報の市場への反映についての確認
- VI. ファッション情報分析 ii (3コマ) … 講義・演習
- ① 春夏コレクション情報の収集と分析と傾向の把握
 - ② 分析結果をビジュアルマップとして制作・市場への影響について考察
 - ③ プレゼンテーション

【評価方法】

提出物 60% 出席状況 40%

主要教材図書

服飾図鑑・ファッション情報誌・ファッションキーワード・リソースセンター映像ルームコレクション映像など

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 澤住倫子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	13552	科 名	ファッション流通科2年ファッションメイクアップコース	単 位	3 単位
科目コード	503600	科目名	ビューティフォト	授業期間	通年

担当教員(代表)：福田 典史	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

生徒が各々、撮影を通じて、メイクアップの見せ方、提案力・表現力を高める
卒業制作の自主制作につながる様毎回の授業を通して基礎と応用を身につける

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

通年の撮影を通じて、カメラの基礎知識、スタジオセッティングを学ぶ

通年のテーマ毎の撮影を通じて、メイクアップの見せ方、提案力・表現力を高める

グループワークによる、共同制作で協調性を高め作品の精度を上げる事を目標とする

ナチュラルメイクの撮影/フレッシュメイクの撮影/キュートメイクの撮影/クールメイクの撮影/エレガントメイクの撮影

カジュアル表現/アートまつげの撮影/ヘアピースの撮影/イメージ表現

SUMMER メイクの撮影/WINTER メイクの撮影

ガーリー&ドリーメイクの撮影/ロック&パンクメイクの撮影/ハロウィンメイクの撮影

ウェディングメイクの撮影/和装メイクの撮影

50' s60' s70' s80' sメイクの撮影

使用機材：Canon一眼レフ・スタジオ機材一式（ライト・背景紙）

プロジェクター・パソコン 消耗品等 他

コマ数：44コマ（前期20、後期24）

【評価方法】制作時の取り組みと成果物を基準とする

授業の特徴と担当教員紹介

1から撮影についての基礎を学び、すべての生徒が総合的な目線でビジュアル制作に取り組める授業

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 福田 典史

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通科2年 ファッションメイクアップコース	単 位	1 単位
科目コード	科目名 販売実務	授業期間	前期

担当教員(代表)：川井佐江子	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

販売員としてのマナー、サービスマインド、基礎知識を習得
コミュニケーションスキルの向上で、顧客獲得のスキルを体得

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類

1. オリエンテーション・自己紹介 1コマ
 2. 他己紹介・ソーシャルスタイル診断 1コマ
 3. 言葉遣い 1コマ
 4. 第一印象・笑顔の重要性 1コマ
 5. チームビルディング 1コマ
 6. 接客8大用語・挨拶・お聞き出し・受止 3コマ
 7. セールスポイントとセールストーク 1コマ
 8. ラッピング 1コマ
 9. ビジネスマナー 1コマ
 10. プレゼンテーション 1コマ
 11. 学びの振り返り 1コマ
- 合計 13 コマ

評価方法・対象・比重（プレゼンテーション・課題30%：出席状況40%：取り組み姿勢30%）
プレゼンテーション・課題、出席状況、授業への取り組み姿勢による総合評価/英字評価

主要教材図書
参考図書 大「顔」展図録、女性の美しいマナー、一般社団法人足と靴と健康協会
その他資料 朝日新聞

授業の特徴と担当教員紹介

●SOC（首尾一貫感覚）の高い人材育成を目標とする

担当教員：川井佐江子 財団法人専修学校教育振興協会認定 専修学校教員資格取得

一般社団法人 足と靴と健康協議会 シューフィッター（プライマリー）取得

一般社団法人 足と靴と健康協議会 シューフィッター（幼児子ども）取得

一般財団法人 日本教育推進財団監修 日本コミュニケーション能力認定協会 コミュニケーション能力検定 2 級取得

一般財団法人日本能力開発推進協会 JADP 認定チャイルドコーチングアドバイザー取得

記載者氏名 川井佐江子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RG2	科 名 ファッション流通科2年ファッションメイクアップコース	単 位	1 ～ 3
科目コード	科目名 メイクアップ演習 a・b・c（自由選択）	授業期間	通年

担当教員(代表)：齋藤 房枝	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

ヘアやメイクアップに特化した実習現場に参加する。専門に学んでいるヘア技術やメイク技術を実践で提供し、様々な素材に対応できるように経験を積み技術を磨く。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- ・学内イベントーファッションフェスティバル 等（ヘアメイク技術提供） 1単位
 - ・ソアロンデザインコンテスト（ヘアメイク技術提供）
 - ・テキスタイルデザイン科3年生 卒業制作ショー（ヘアメイク技術提供）
 - ・他科作品コラボレーション（ヘアメイク技術提供）
 - ・美容サロンコンポジット制作（メイク技術提供）
 - ・ファッションイベント（ヘアメイク技術提供）
- 1単位
- 1単位

S～C・F評価

評価基準：学業評価 80% 授業態度 20% [英数字評価]

主要教材図書

参考図書
その他資料

記載者書名欄	齋藤	房枝
--------	----	----

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RG2	科 名	ファッション流通科2年	単 位	1単位
科目コード		科目名	デザイン文化史	授業期間	後期

担当教員(代表)：布施伊織	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

流通高専2年との合同授業として、どちらの学科にも通底する「基礎」という点に着目した内容。大きく分けて「基礎知識」と「基礎デザイン」という観点から、ファッション業界を目指す人材として広く知っておくべきカルチャーの知識やデザインの考え方を、可能な限り実践形式で伝達する。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
オリエンテーション	座学・ワークショップ	1
エディトリアルデザイン	座学・ワークショップ	2
カルチャー史解説	座学	3
素材研究	座学・ワークショップ	3
造形演習① 粘土・ガムテープ	座学・ワークショップ	2
造形演習② 切り絵	座学・ワークショップ	2

【評価方法】

出席率、演習課題の提出状況と完成度

授業の特徴と担当教員紹介

四大卒後、文化服装学院アパレルデザイン科卒。アパレル企業勤務を経て、アスリートマネジメントを行う会社に8年間勤務。日本美術・西洋美術の知見を用いて美術・デザインを分析的に見る視点をもとに、デザインの方法論を考察・一般化して学生に届ける。

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 布施伊織

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RG2	科 名	ファッション流通科2年ファッションメイクアップコース	単 位	1単位
科目コード	505000	科目名	メディアワーク	授業期間	(後期)

担当教員(代表)：高橋 翼

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

1年次に得た Illustrator/Photoshop の基本知識をより実践的に使えるレベルへ引き上げる。他授業と連動しながら、魅力あるメイクブックを制作、効果のあるセルフプロモーションへと繋げる指導を行う。

【授業計画】

●使用ソフト

- ・ Adobe Illustrator/Photoshop

●指導内容

- ・ レタッチやメイクブックの作成に必要な基本動作、レイアウトなどの編集作業を通じて、自分の作品群をより魅力的に落とし込む技術を身に付けさせる。
- ・ メイクブックをはじめ、ポートフォリオの魅せ方、印刷の入稿方法についても学んでいく。

●提出課題

- ・ フォトレタッチ課題
- ・ テーマ別メイクブック
- ・ 卒業展示用ポスター案
- ・ 卒業展示用パネル

【評価方法】 出席評価を前提とし、提出課題評価を加えて総合手に判断

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

高橋 翼

デザイン事務所、デザイン専門学校学科長、アウトドアスポーツメーカーを経て現在に至る。ファッションやプロダクト、サステイナブル分野を中心にデザイン活動、教育、ワークショップなど幅広く活動。

記載者氏名 高橋 翼

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RG2	科 名	ファッション流通科2年	単 位	1単位
			ファッションメイクアップコース	授業期間	前期
科目コード	502200	科目名	パーソナルカラー		

担当教員(代表)：大串 由美子

共同担当者： —

【授業概要、到達目標・レベル設定】

1年次の色彩理論・配色作品づくりをもとに、メイク業界・ファッション業界の現場や販売接客における「似合う色」の活用を目標に、色を理論的かつ具体的にアドバイスできるビジネススキルを習得するとともに、パーソナルカラー検定2級取得を目指す。

* パーソナルカラー検定3級・2級に基づく内容

【授業計画】

1. パーソナルカラー概論 <1コマ> 講義・演習
似合う色の考え方、PIと自分ブランディング、デモンストレーション、トーンマップ作成
2. パーソナルカラーの基本 <3コマ> 講義・演習
パーソナルカラーの色分類方法、4タイプのカラーパレット、メイクカラー分類(演習) 等
3. ドレーピング分析方法 <2コマ> 講義・実習
色素確認(実習)、ドレーピング(実習)
4. コンサルティング手法とアドバイスシートの作成 <3コマ> 講義・実習
似合う色の取り入れ方、パーソナルカラーコンサルティングの考え方、アドバイスシート作成
5. ヘアメイクシート発表、パーソナルカラー活用まとめ <1コマ> 実習
発表(ロールプレイ)、パーソナルカラーの活用まとめ
6. パーソナルカラー検定対策 <3コマ> 講義・演習

上記内容について、

各授業内で適宜組み合わせ、実習・演習・ロールプレイを織り交ぜながら進める。

【評価方法】

S～C・F評価 評価基準：学業評価50% 授業姿勢50%

主要教材図書 『パーソナルカラー検定公式テキスト』3級・2級(日本カラーコーディネーター協会)

参考図書 なし

その他資料 新配色カード199a、トーンマップ、過去問題

授業の特徴と担当教員紹介

色彩の応用として、パーソナルカラーについて学ぶ。メイク・ファッション業界で活用できる色彩知識とスキルの習得を目指す。専門学校・大学・企業等での色彩講座・研修・カラーコンサルティングを担当。

記載者氏名 大串 由美子

2024年度科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通科 2 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 ファッション英会話	授業期間	前期

担当教員(代表)：増田和香子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

今までに学んだ基本的な文法知識を基に、簡単な英語でコミュニケーションをとることを目標とする。少人数クラスの利点を生かし、学生が自主的に英語を話そうとする意欲を涵養する。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
Unit 1: Self-introduction	演習	1	Unit 25: Adjectives for fashion	演習	1
Unit 8, 9, 10: Review of grammar	演習	1	Unit 27: Structure of a presentation & Sequence connectors (How to make it?)	演習	1
Unit 20: Fashion items	演習	1	Unit 28/29: Large numbers and shopping	演習	1
Unit 21: Colors-Patterns	演習	1	Unit 31: Resume	演習	1
Unit 22: Laundry care	演習	1	Unit 32: Job interview	演習	1
Unit 23/Unit 26: Body and face parts	演習	1	Unit 33: fashion show	演習	1
Unit 24: Presentation	演習	1		演習	

【評価方法】平常点（出席、クラス参加）30%、授業中の小テスト 30%、ライティング 10%、プレゼンテーション 30%の評価基準を用い、S～C・F 評価をする。

授業の特徴と担当教員紹介

テキストは文化服装学院オリジナルのテキストを用い、文法事項やファッション関係の語彙を再確認する。

主要教材図書	<i>Essential English for Fashion Students</i> (文化服装学院編)
参考図書	なし
その他資料	なし

記載者氏名	増田和香子
-------	-------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RB2	科 名	ファッション流通科 2 年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	TOEIC	授業期間	通年

担当教員(代表) : 三村 典召	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】 TOEIC テストでの 600～700 点程度の取得。 またスコアに見合うだけの英語力を身につける。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
コースと TOEIC の概要紹介	演習	1
接尾辞と品詞	演習	1
Part 1 解説と演習	演習	1
Part 2 解説と演習	演習	1
Part 3 解説と演習	演習	1
Part 4 解説と演習	演習	1
接頭辞と意味	演習	1
Part 5 解説と演習(1)	演習	1
Part 5 解説と演習(2)	演習	1
Part 6 解説と演習	演習	1
Part 7 解説と演習(1)	演習	1
Part 7 解説と演習(2)	演習	1
Part 7 解説と演習(3)	演習	1

【評価方法】 学業評価(50%)、授業姿勢(50%)

授業の特徴と担当教員紹介 TOEIC の出題形式に慣れるために、目標レベルにあったテキストでの問題演習を繰り返すことで、Part 毎の出題傾向を捉える。
--

主要教材図書 増補改訂版 はじめての TOEIC L&R テスト 全パート総合対策
参考図書
その他資料

記載者氏名 三村 典召

2024年度カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RC2	科 名 ファッション流通科 2 年／ファッション流通高度専門士科 1～4 年	単 位	1 単位
科目コード 101091	科目名 ニット A（自由選択）	授業期間	前期

担当教員（代表）：前田 亜希子	共同担当者：
-----------------	--------

概要

ハンドニットの一般知識（素材・道具・編み地）と棒針、鉤針の編み方の理解と作品作りの知識を習得し、ニットの可能性を広げる。

【授業計画】

テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

回数	内 容	方法	コマ
1	ニットの一般常識、指編み実習	講義・演習	1
2	棒針編み基礎、作り目、表編み（パール編み） JIS記号	講義・演習	1
3	棒針編み基礎、裏目（メリヤス編み・ゴム編み）	講義・演習	1
4	棒針編み基礎、三原組織、伏せ止め	講義・演習	1
5	鉤針基礎（鎖編み、細編み） JIS記号について	講義・演習	1
6	鉤針基礎（細編み・中長編み・長編み）・長編みの円	講義・演習	1
7	ニットの素材・ファンシーヤーン	講義	1
8	各自制作する作品についての指導、ゲージの取り方、作図・計算	講義・演習	1
9	各自作品制作・指導	演習	1
10	各自作品制作・指導	演習	1
11	各自作品制作・指導	演習	1
12	各自作品制作・指導	演習	1
13	ニット総括、作品発表会	講義・発表	1

評価方法・対象・比重

提出物… 80% 授業姿勢・出欠席… 20%

主要教材図書 講座 ニットの基礎技術 抜粋プリント

授業の特徴と担当教員紹介

ハンドニットを中心にニットの基礎を理解し、演習を通じてニットの楽しさや多様性を知り、ニットの可能性を広げる授業。ハンドニットから工業ニットまで幅広いニットの知識と技術を専門とする教員が授業を展開する。

記載者氏名 前田 亜希子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科 名 ファッション流通科 2 年 / ファッション流通高度専門士科 1～4 年	単 位	1 単位
RA1234	科目名 ソーイング a	授業期間	前期
科目コード			

担当教員(代表) : 中野 麗子

共同担当者 :

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

各自のコーディネートにプラスすることでより効果的に表現できるアイテム(つけ衿・リメイク)を2点制作する。各自のデザインに応じた制作方法を指導、理解させる。

コマ	内 容
1	導入、デザイン相談(つけ衿)
2	デザイン決定、裁断、解体
3	点検・実習
4	点検・実習
5	点検・実習・提出
6	導入、デザイン相談(リメイク)
7	デザイン決定、裁断、解体
8	裁断、解体
9	点検・実習
10	点検・実習
11	点検・実習
12	点検・実習・提出
13	制作物を用いたスタイリング撮影実習(発表会)

S～C・F評価

評価基準 : 学業評価 70% 授業態度30%

主要教材図書

文化ファッション大系 ファッション流通講座 コーディネートテクニク アクセサリー編

参考図書

その他資料

記載者氏名 中野 麗子

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科 名 ファッション流通科 2 年／	単 位	1 単位
科目コード	ファッション流通高度専門士科 1 年～4 年共通自由選択	授業期間	前期
	科目名 選択帽子（布帛）		

担当教員(代表)：徳満 真紀	共同担当者：
-------------------	--------

概要： 布帛による基本的な帽子を製作し、知識と技術を取得する。
発表会を行うことにより、帽子を使用したアクセサリコーディネートを行う。

I. 帽子の一般知識導入…（講義・実習）1 コマ 1 歴史・名称・素材・用具・かぶり方・マナー 2 自分のハットサイズの測り方を学び、採寸
II. ベレー帽製作…（講義・実習）5 コマ ベレー帽の構造を理解する 1 パターン製作 2 裁断・印つけ・本縫い
III. 自由作品製作（キャップ・クロッシュー・ハンチング・キャスケット・ヘッドアクセサリ）…（講義・実習）6 コマ 各自製作の帽子の構造を理解する 1 パターン製作 2 裁断・印つけ・本縫い
IV. 発表会……1 コマ 1 製作した作品に合わせトータルコーディネートを行い発表会実施

【評価方法】	1 S・A・B・C・F 評価 2 評価基準…学業評価 50% 授業姿勢 50%
--------	---

主要教材図書	文化ファッション大系 ファッション流通講座③コーディネートテクニックアクセサリ編 文化服装学院編 学校法人文化学園 文化出版局
参考図書	文化ファッション大系 ファッション流通講座③コーディネートテクニック演出編 I 文化服装学院編 学校法人文化学園 文化出版局
その他資料	なし
授業の特徴	布帛の帽子に関するパターン作りと縫製方法を身につけ、帽子を活かしたコーディネート発表会を行う。
担当教員紹介	文化服装学院 専任教授

記載者氏名	徳満 真紀
-------	----------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	単 位	単 位
科目コード	科目名	授業期間	前期

担当教員(代表)：関根 麻里恵

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

授業概要：ファッションを伝えるメディア（媒体）の一つとして映画を捉え、映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを学ぶ。具体的には、スターがスター足らしめた時代（1910-60年代）と「ニュー・シネマ」以降（1960年代後半-現在）と大きく二つに分け、①映画の技術の発展（サイレントからトーキー、モノクロからカラーなど）と衣装の見せ方の関係性、②映画のなかの俳優とファッションの関係性、③そこに描き出されていた理想の男らしさ・女らしさ、④当時の社会との関係、⑤観客の眼差しの変遷について、特筆すべき映画の具体例を交えながら検討していく。

到達目標：映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを理解し、ファッションの魅力を人に伝えられるように言語化（＝レポート提出）することを目標とする。

レベル設定：映画を定期的に鑑賞していて、映画とファッションの関係やジェンダーに興味があり、なおかつそれを知ろうとする向上心のある学生が好ましい。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
第1回 イントロダクション	講義	1
第2回 映画・ファッション・ジェンダーの関係	講義	2
第3回 1910年代-1920年代：サイレント時代	講義	3
第4回 1930年代-1940年代：ハリウッド映画黄金時代	講義	4
第5回 映画作品鑑賞①	講義	5
第6回 1950年代-1960年代前半：娯楽大作主義時代	講義	6
第7回 1960年代後半-1970年代前半：アメリカン・ニューシネマ、パニック映画時代	講義	7
第8回 映画作品鑑賞②	講義	8
第9回 1970年代後半-1990年代前半：ニュー・アメリカン・ドリーム、ビデオ時代	講義	9
第10回 1990年代後半-：CG時代	講義	10
第11回 映画作品鑑賞③	講義	11
第12回 LGBTQ映画とファッション	講義	12
第13回 まとめ	講義	13

【評価方法】

①S～C・F評価。出席（40％）＋コメントシート（10％）＋レポート（50％）

主要教材図書 なし

参考図書

川本恵子『新装版 魅惑という名の衣裳―ハリウッド・コスチュームデザイナー史』株式会社キネマ旬報社、2009年。

村山匡一郎編『映画史を学ぶ クリティカル・ワーズ【新装増補版】』フィルムアート社、2013年。

その他資料 適宜配布

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：ファッションも映画も、その当時の社会的背景や技術に影響をうけて発展・衰退・進化をしているメディアであることを、歴史を踏まえながら理解することで、ファッション、映画双方への理解を深めることができる。

担当教員紹介：専門は表象文化、ジェンダー・セクシュアリティ、文化社会学。ファッション批評誌『vanitas』（アダチプレス、2013年）のほか、『ユリイカ』『現代思想』などに寄稿。共著に『ポスト情報メディア論』（ナカニシヤ出版、2018年）、『「百合映画」完全ガイド』（星海社、2020年）、『クリティカル・ワード ファッションスタディーズ―私と社会と衣服の関係』（フィルムアート社、2022年）、『ポストヒューマン・スタディーズへの招待―身体とフェミニズムをめぐる11の視点』（堀之内出版、2022年）、共訳に『ファッションと哲学』（フィルムアート社、2018年）がある。（2020年6月現在）

記載者氏名 関根麻里恵

科コード	RA2	科 名	ファッション流通科2年/流通高度専門士科1～4年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	パソコンスキル b	授業期間	前後期

担当教員(代表)：山本 タク	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

通常授業を応用した、より効率的なソフトの使用方法和現場向きのデザイン方法を学ぶ。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

[illegible]

【評価方法】

S～C・F評価 評価基準：出席率・授業態度50% 課題制作物50%

主要教材圖書

参考図書

その他資料 教員制作の資料と問題

授業の特徴と担当教員紹介

・フリーランスグラフィックデザイナー

2019年独立。

アパレルブランド、冊子、パッケージデザイン等、行政や企業、アーティストなど幅広いクライアントにデザイン提供を行

っている。

実務で使えるテクニックや基本的なソフトの動かし方などを、幅広いクライアントとの仕事経験を活かし、
生徒に興味を持ってもらえるような授業運営を行う。

記載者氏名 山本 拓

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 1

科コード RG2	科 名 ファッション流通科2年 ファッションメイクアップ コース	単 位 2
科目コード	科目名 特別講義Ⅱ	授業期間 通年

担当教員(代表)： 齋藤 房枝	共同担当者： 各担当講師
-----------------	--------------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>ファッションとヘアメイクをトータルにコーディネート提案・表現するために、後の時代を読み取り自己の可能性、方向性を見つけ幅広い表現者としての現場で活躍している方々から知識を学ぶ。</p>

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、</p>		
・ ファッションと美容業界の現状と今後	90×1	講義
・ ヘアテクニク	90×6	講義、展示・実習(ウィッグ)
・ 骨格メイク	90×4	講義、展示・実習(相メイク)
・ キャリアビジョン	90×1	講義
・ いけばなアーティストの世界	90×2	講義、展示(ヘアメイク担当：4名)
・ アクセサリーの仕事とテクニク	90×2	講義、展示・制作
・ キャラクターメイク	90×3	講義、展示・実習(相メイク)
・ カメラから見たヘアメイク	90×1	講義
・ 特殊メイク アートメイク(ペイント)		
エアブラシテクニク	90×5	講義、展示・実習(相メイク)
・ コスプレウィッグ	90×2	講義、展示・実習(相メイク)
・ フォーマルウエアの知識	90×2	講義

評価方法	受講P(ノート提出)
------	------------

主要教材図書
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

アクセサリデザイナーによるヘアアクセサリの制作実習、ヘアメイクアップアーティストによる特殊メイク実習、プロのメイクアップアーティストによる顔の骨格や筋肉のバランスに合わせた骨格メイクなど、ファッションとヘアメイクをトータルにコーディネート提案・表現するために、幅広い表現者として現場で活躍している方々から知識を学ぶ。

【 記載者書名欄 齋藤 房枝 】

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RG2	科 名 F 流通科 2 年ファッションメイクアップコース	単 位	1
科目コード	科目名 校 外 研 修 II	授業期間	後期

担当教員(代表)：齋藤 房枝	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

学外の研修及び研修旅行を通し、古典文化とファッション・ヘアメイクの分野を幅広く理解させる。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

◇研修旅行 11月 (京都) (12コマ)

<京都拝観寺院>

・竜安寺

<文化研修>

・舞子研修(水化粧・着付け)

<美術館見学・企業見学・研修>

・西陣織あさぎ美術館

・アートユニ(友禅染)

<マナー講座>

・ホテル テーブルマナー

◇校外授業 (3コマ)

・舞台ヘアメイク・衣装見学

・美術館見学

評価方法

出欠、研修レポート、受講 [P評価]

主要教材図書

参考図書

その他資料 プリントなど

記載者書名欄	齋藤	房枝
--------	----	----

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RG2	科 名 ファッション流通科 2 年	単 位	1 単位
科目コード	ファッションメイクアップコース	授業期間	
	科目名 イベント実習 a		前期（集中）

担当教員（代表）：齋藤 房枝

共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

それぞれのコース目標に準じた企画立案、学生主体のイベント運営を通し、新入生歓迎動画制作とイベント実施日のインスタレーション企画。
今後の自分の進路や目標設定に役立てる。

●オリエンテーション、企画趣旨、コースの目的に沿った内容検討

合同企画立案・チーム決め・・・講義・実習 1 コマ

●チームごとにイメージを決め、ヘアメイク、スタイリングイメージ、アクセサリー、ロケーションなどを話し合う

・・・実習 2 コマ

●チーム準備 モデルお顔分析、メイク練習、衣装調達、スタイリング、ロケーション、動画構成、歩行練習

・・・インスタレーション企画
実習 4 コマ

●チームごとに撮影実習

・・・実習 2 コマ

●撮影データを修正、まとめ、インスタレーション準備

・・・実習 2 コマ

●データをまとめたものを発表・公開（各クラスにて1年生歓迎イベント開催）

・・・実習 4 コマ

合計 15 コマ

評価方法・対象・比重

S～C・F評価 授業評価 80% 学業評価 20%

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 齋藤 房枝

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科 名 ファッション流通科 2 年	単 位	2
科目コード	科目名 イベント実習 b	授業期間	後期集中（自由選択）

担当教員(代表) : 木本 晴美	共同担当者 : 久保田智美 門元伸子 砂生政信 佐藤雄太郎 薫森三義 野口恭子 齋藤房枝
---------------------	--

教育目標・レベル設定など

自由選択で行うイベント実習。イベント実習の集大成として、ファッションショーを各パートに分かれて活動する。ファッションイベント制作で、個々の知識と技術を結集、またコミュニケーション能力も養う。

授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 顔合わせ 検討会 4 コマ 講義・実習
 - ・各パート係選出・決定
 - ・各パートにて検討会
- 各パート実働 12 コマ 実習・点検
 - ・各パート活動を通してファッションショーの仕組みと効果的な演出方法を学ぶ
 - ・各シーンでのフィッティング点検
 - ・エフェクト(音楽・照明・映像)点検
- 準備 リハーサル 9 コマ 実習・点検
 - ・各パートでの実習 準備リハーサル
- 本番 4 コマ 実習
 - ・各パートでの実働
- 反省会 片付け 1 コマ 実習・まとめ
 - ・各パート片付け・反省会

評価方法・対象・比重

S～C・F評価 評価基準：学業評価 40%、出欠評価 60%

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
イベント実習の集大成としてファッションイベントの立案・実施をする

記載者書名欄 砂生政信

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科 名 ファッション流通科 2 年	単 位 1
科目コード	科目名 イベント実習 c	授業期間 後期集中(自由選択)

担当教員(代表): 木本 晴美	共同担当者: 久保田智美 門元伸子 砂生政信 佐藤雄太郎 薫森三義 野口恭子 齋藤房枝
--------------------	---

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>自由選択で行うイベント実習での企画運営。イベントの企画立案を学び、イベントの構築を行う。 ファッションイベント制作での個々の知識と技術を結集、またコミュニケーション能力を養う。</p>

<p>授業計画】</p> <p>テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <p>●企画立案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画スタッフ公募 <p>学生個々で企画立案レポート作成 1 コマ 実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ設定 <p>テーマの検討・決定 3 コマ実習・点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シーン設定 <p>シーンの検討・決定 4 コマ実習・点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロモーション <p>プレスリリース案検討・決定 2 コマ実習・点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各シーン内容の構築 <p>各シーンについての内容細部検討 4 コマ</p>
--

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>S～C・F評価 評価基準：学業評価 40%、出欠評価 60%</p>

主要教材図書
参考図書
その他資料

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>イベント実習の集大成としてファッションイベントの立案・実施をする</p>

<p>記載者書名欄 砂生政信</p>

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

担当教員(代表)：齋藤 房枝

共同担当者：

科コード RG2	科 名 ファッション流通科2年ファッションメイクアップコース	単 位	4
科目コード	科目名 卒業制作	授業期間	後期

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
2年間の学習の集大成として、学生個々での研究創作とした作品制作及びプレゼンテーション・展示発表まで行う。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

〈卒業制作〉

各自の世界観を2作品として、ヘア、メイク、バストアップのコーディネートを考え
モデル選び、ポージング、撮影場所（スタジオ・ロケーション）、カメラの構図、を総合的に
ディレクションし作品を製作する。

プレゼンテーション・展示発表を行う。（ファッションモデルコース合同展示）

1. オリエンテーション 概要・スケジュール × 1
2. 市場・トレンド情報リサーチ・調査・分析をまとめる × 7
2. 企画構成（研究テーマ設定：2テーマ）× 8
3. 小物・アクセサリ製作 × 13
4. モデル選び、ポージング、撮影場所（ロケハン）、カメラ構図 × 3
5. ヘアメイク撮影①（スタジオ） × 2
6. ヘアメイク撮影②（スタジオ or ロケーション） × 2
7. データ制作 × 14
8. プレゼンテーション・展示発表 × 3

計 53コマ

評価方法・対象・比重

調査分析作品（レポート）評価＋自由作品評価＋プレゼンテーション＋出席状況

（学業評価70% 授業姿勢30%）[英数字評

価]

主要教材図書

情報誌、ファッション・コスメ雑誌など

参考図書

その他資料 参考プリント、参考標本、部分標本など

